

令和6年度 印西市立印西中学校 学校評価の総括

1 「教育方針・目標の理解」について

生徒に関しては、肯定的評価が3年生と2年生が94%、1年生が93%であった。しかし、昨年度より、-1.5%減少した。職員がよく理解しているのは当然であるが、保護者の肯定的評価が76%と昨年度より-8.4P減少した。また、「わからない」と回答した保護者が12%という結果であった。学校だよりのタイトルが学校教育目標となっていること、また、学校教育目標を保護者会等で発信していく。

2 「意欲的な学習態度」について

生徒に関しては、1年生90%、2年生84%、3年生95%が肯定的評価をしている。昨年度より、全体で6.4P上昇した。ICTの積極的な活用による個別最適化、協働的な学習により、生徒たちの主体的な学びに繋がった結果であると言える。また、現3年生の昨年度の割合は83%であったので、これまでの継続的な粘り強い指導と、受験への意識が高まったことの表れと考えている。1年生の学習意欲が高いので今後も継続させたい。全学年の保護者の肯定的評価の割合が70%未満であるので、学習意欲向上のため指導方法の工夫改善に努めてまいりたい。

3 「授業力向上」について

「授業がわかりやすい」と回答しているのは、1年生98%、2年生98%、3年生96%となった。肯定的評価については、生徒が97%、保護者が55%で、その差が42Pと、昨年度より差が広がり、たいへん大きな差となった。この設問に関しては、生徒と職員はほぼ同じ傾向を示すが、保護者との乖離が大きい。生徒と保護者のコミュニケーションの取り方や、保護者の関心を高めるための情報提供のあり方を工夫していきたい。

4 「家庭学習の充実」について

「家庭学習に励んでいる」と回答しているのは、1年生90%、2年生70%、3年生94%であった。今年度の2年生の割合が昨年度と同様と伸び悩んだ。保護者の肯定的評価は昨年度と比較して-3.5となり、昨年度よりさらに下降した。1年生の保護者の評価は69%、2年生の保護者53%、3年生の保護者の評価が86%となっている。職員に関しては、家庭学習の習慣化に係る指導について、評価は横ばいである。学校だけでなく、家庭に帰っても机に向かう習慣や学習時間が増えるよう、家庭学習の内容や指導方法について、さらに工夫改善に努めたい。

5 「友達への思いやり」について

昨年度に続いて、生徒、保護者、職員の意見がそろった肯定的評価である。生徒、保護者とも昨年度より若干下降しているものの、約95%と高い水準である。思いやりの心、豊かな心の育成について、引き続き指導の重点のひとつとして取り組んでいきたい。

6 「道徳・心の教育の充実」について

本校の道徳教育は、充実している。道徳教育推進教師を中心に全校道徳を1学期1回2学期2回実施した。また、若年層教員とベテラン教員との相互授業参観を実施し、内容の充実のみならず、授業力の向上も図っている。加えて、人権教育にも力を入れている。

肯定的な評価については、生徒が97%、保護者は81%であった。昨年度と比較すると生徒は+1.7P、保護者は-3.2Pとなった。学校での実践内容を、学校だよりや学年だよ

り、学級通信及びホームページ等でさらに積極的に発信していきたい。

7 「健康づくり」について

昨年度と比べて生徒の肯定的評価が+0.5Pとなった。保護者の肯定的評価の割合は-2.6Pであった。食事、運動、睡眠、心の健康の大切さ等、健全な心身の発達のため、多角的・継続的な健康教育を推進していきたい。

8 「一人一人の児童生徒の理解と尊重」について

肯定的評価は、生徒97%、保護者81%であった。昨年度と比較すると生徒は、+1.2、保護者は-2.8Pとなった。生徒指導の重点である生徒理解に努め、一人ひとりを大切にしたい。個に応じた指導を続けたい。

9 「いじめ問題への対応」について

生徒に関して、肯定的評価は1年生96%、2年生95%、3年生98%であった。保護者の肯定的評価の割合は74%で、昨年度と比較して-12.8Pとなった。職員が初期対応の重要性を理解して、少しでも兆候が見られた場合、組織的に対応し、家庭との連絡を密にとり、引き続き丁寧に対応していきたい。

10 「学校の支援体制」について

生徒の肯定的評価は、1年生96%、2年生97%、3年生98%であった。保護者の肯定的評価については、83%で、昨年度比-5.4Pとなった。相談・支援体制の充実、生徒指導の原点である。今後も力を注いでいく。

11 「安全と事故防止」について

生徒の肯定的評価は98%、昨年度比+1.3Pであった。保護者の肯定的評価は83%、昨年度比-10.3Pである。安全に絶対はない。その姿勢を持って全校で安全教育に取り組んでいる。生徒もそれを理解しているし、保護者にも学校の取組を伝え続けたい。

12 「施設・設備の改善・充実」

肯定的評価は、生徒が92%、前年度比+3.2P、保護者が60%、昨年度比-9.9P、職員は38%、+15.4Pとなった。校舎の老朽化が進み、職員で可能な限り修繕を行っている。また、印西市教育委員会が学校の修繕依頼に応じていただいていることも大きい。今年度も夏のPTA環境美化作業や、2月の同窓会環境整備作業等で保護者や同窓会のお力をお借りしながら、「古くてもきれいな学校」を目指して、引き続き職員も生徒とともに活動していく。

13 「家庭や地域との連携協力」について

肯定的評価は、生徒が83%、昨年度比+0.9P、保護者が65%、昨年度比-13.4P、職員については81%、昨年度比+3.6Pとなった。職場体験や職業講話、進路講話などがコロナ以前と変わりなく実施できた。保護者にも引き続き学校の取組を伝えていきたい。

文責 校長 坂野 峰子